

# 移行支援

就学前→学校    小低→小高    小学部→中学部    中学部→高等部    学校→社会

小学部	中学部	高等部	
挨拶の習慣をつける	場面に応じて人と関わりをもつ	主体的に判断して人と関わる	①主体的に関わる
場面や相手に応じた言葉遣いをする	職業生活に必要なコミュニケーション能力の育成		②伝える
目的・場所や経路を意識して外出経験を重ねる	地図や交通機関を活用し計画的に外出をする	計画的に外出し社会参加する	③関わりを広げる
社会資源を活用社会参加を広げる			
支援を受けながら活動する	必要な時に支援を求めようとする	自分に必要な支援を理解し適切に支援を求める	④支援を受ける
夢や職業への憧れをもつ	身近な職業について学ぶ 中学生活への夢・目標	仕事を体験的に学ぶ 高校生活への夢・目標	⑤憧れる、期待する
自己理解、他者理解			
仕事や自分の役割へ関心を向ける 自分の役割をはたそうとする	身近で働く人の仕事へ関心を向ける 働くことの意味や自分の役割を理解し活動する		⑥役割を果たす
最小限の支援で自分の行動を管理する 障害の程度に応じたADLの確立を目指す	主体的に自己管理を行う 適切な支援を受けることや支援機器を活用することで、参加し活動する力をつける		⑦自分でやる
楽しく遊んだり活動する経験を積み重ねる	余暇を確立し充実させていく	余暇を活用した社会参加を広げる	⑧楽しむ
自分で選ぶ経験を積み重ね、主体的に選択する力をつける	自己実現を目指し、よりよい選択をする力をつける 必要な支援を受けながら、進路に関する主体的な選択を行う		⑨選ぶ
周りのことに興味をもち、分からないことを調べる	仕事や生き方への関心を広げ、分からないことを調べる	進路や学習の場面で、主体的に計画し準備し活動する	⑩解決する
		計画し実行して、困難があれば、相談したり調べたりして解決する力をつける	
			広げる力
			積み上げる力

人間関係形成能力

自己管理能力

課題対応能力

キャリアプランニング能力

人と関わる力

はたらく力

自己決定する力

健康に生きる力  
・健康の維持  
・生活リズムの安定

基礎的な学力をつける

保護者との連携 (個別的教育支援計画に基づく)  
・進路指導  
・地域との連携  
・社会資源の活用  
・医療との連携

困難に対する支援  
・ICFの観点  
環境因子、個人因子の障害への影響を考慮  
身体機能構造の障害と活動・参加の制限  
学習における合理的配慮  
AAC、AT等の活用  
環境支援 (視環境、状況理解、予告)

自立と社会参加 (家庭・地域・社会)

## 移行支援

